

(十)

# 諸君の祖國はいつこそぞ 日本國民の自覺を持つて

## 諸君の祖國はいつこそぞ 日本國民の自覺を持つて

諸君が全國民の塗炭の苦みを一日も早く救済せんとする心情は可とすべし然らば何が故に純正日本國體原理性より流露開顯さるべき維新への御奉公に參加せざるや！

財閥政黨特權階級の不逞横暴に激怒する氣持は可とすべしも一何となれば右徒輩は光輝ある國體を自由主義を信奉する事に依りて民主國家の建設を企圖狂奔しつつあり、従つて國體性の破壊は現前に見るが如き財閥專制國民窮乏にして志士の決意を愈々固からしめつつあるからである。

勿論それは諸君が社會主義（それが如何なる社會主義であらうとも）に眩惑し祖國を蔑視し財閥一國體なる惡逆無慘な思想の下に財閥を憎むのあまり赤色労働祭に參加し、五月一日は全世界の労働者農民の祭日なりとして一大示威運動を政行し以て日本を赤露の支配下に置かんと意圖する。その罪罪に斬罪に値すべきものと斷すべきである。

特に大衆動員形式（社會主義の理論的必然的革命戦法）に依りて事を構へんとするに於ては吾等は劍を執りて敢然粉碎するは言を要しない。

無幸の民の血を以て自己意志の實現を計らんとは何んたる弄劣醜惡なる社會主義幹部の心理なるぞ、勿論革新の必要なるは吾人も同意ではある、だが吾人の歴史によりて薰陶せられたるものは犠牲である、大君のため祖國のため人柱たることである。御維新は軍人が戦場に於て屍をさらすと同じ氣持にて遂行さるべきを確信する。國民を革命の道具として流血せしめ野望を満すことは家族國日本に於て許さるべきものは斷じてない。國民のためには無動混亂せしむる事ではなく無私挺身の活動である、一切の革新原理は茲に基點を置くべく、日本國民には只一死御奉公の鐵則あるのみである、國民を愚弄する社會主義幹部は天人共に許さざるところである。

財閥の祖國は英國にして諸君の祖國は赤色ロシアなりや！労働者農民諸君！今や積年の弊害其極に達し怨雲は祖國本來の姿をも蔽はんとする前夜にあり、即ち昭和維新の大業は眼前に迫つてゐるのである。而かも内外共に多事今にして諸君が純正日本の姿を認識することなく徒に衆の名に於いて事を圖るに於ては、かつての爲政者と同じく國賊として刑懲さるべきを深く反省せねばならぬ。

日本に生を享けた諸君が日本人としての尊き使命をも打忘れて、その魂をまで赤色に蝕まるるは實に不甲斐なき心情なるぞ。

諸君この秋、我日本傳來の雄々しき魂に甦つて勇躍一番ごもに昭和維新の大業を翼賛し奉らんことを切望する。

諸君もし吾等の苦言に耳を傾けざるに於ては身をもつて斷呼撃滅せん事を再び明言す。

ノーデー參加を拒否し日の丸の御旗の下に！

皇紀二千五百九十五年五月

### 大日本護國軍

久保美喜

小倉市富野印刷所下關市護國報社